

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	医療機関の電波利用に配慮した建築計画検討小委員会	主 査 名：遠藤 哲夫 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (電磁環境運営委員会)	委員長名：岩田 利枝 主 査 名：川瀬 隆治
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・本委員会は、建築部材及び建築設備が医用テレメータに与える影響を調査し、医療機関の電波利用に配慮した建築計画・建築設計・電波環境調査手法に関する技術指針を作成することを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：遠藤 哲夫(大成建設)、幹事：川邊 学(埼玉医科大学)、委員：新 秀直(東京大学)、泉 敬介(関電工)、宇治川 智(鹿島建設)、小熊 直樹(大林組)、川瀬 隆治(NICT)、加納 隆(滋慶医科大学) 國分 誠(清水建設)、後藤 薫(NICT)、鶴田 荘広(竹中工務店)、花田 英輔(佐賀大学)、吉野 涼二(環境調査事務所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 建築部材及び建築設備が医用テレメータに与える影響の調査 建築部材及び建築設備がテレメータ周波数帯域における電波伝搬に与える影響を検討した関連資料を分析し、当初計画通りの成果を達成した。 2. 第 1 次 WD (Working Draft) 検討 第 1 次 WD の完成に向け、執筆の主旨、目次素案、分担案等の審議を進め、当初計画通りの成果を達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価) 最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>当委員会の主たる目標である「医療機関の電波利用に配慮した建築計画の設計指針を検討し、その統一見解を学会規準としてまとめること」に関して、毎回の活発な審議を通じ、十分な進捗を得ることが出来た。</p> <p>最終年度に向けて、各成果の取り纏めを含めて委員会活動を引き続き推進したい。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。